



大村市立福重小学校 学校だより

みどい

令和5年1月10日（火）

文責：校長 田中 康隆

目指す児童像：⑤るさとを愛する子・④ふうする子・③んせつな子・②んきな子

新年明けましておめでとうございます

正月三が日は、暖かく穏やかな日和が続き、気持ちよく1年のスタートをきることができました。

今年は卯年、うさぎぎは跳ねることから「飛躍」「成長」「向上」の年とされています。

「鷹目兎耳（えんもくとじ）」

情報を集める能力の高い人のこと。鷹のように遠くの物まで見分ける目と兎のように小さな物音まで聞き分ける耳ということを表している。

「烏飛兎走（うひとそう）」

月日が慌ただしく過ぎていくこと。兎は月、烏は太陽の例えであり、月日を指す。飛や走は経過が早いことを表している。

「獅子搏兎（ししはくと）」

簡単なことにも全力を尽くすこと。獅子（ライオン）は兎のような小動物でも全力で捕まえると言われている。

以下、うさぎにまつわる四字熟語を調べてみました。

うさぎにあやかって、子供たちはもちろんのこと、保護者、地域の皆さんにとってもよい年になることを心から願っています。

20才の集いに参加して思うこと

1月3日（火）に、福重地区の「20才の集い」が開催されました。54名の福重小学校卒業生のうち34名が参加をされていました。当時の担任の先生2名も、わざわざ吉岐から来ておられました。毎年思うのは開催されている福重地区の皆様の思いに応えるかのように、子供たちが立派に育っているということです。来賓の話の時に、体から話す人の方を向き、目を輝かせて聞く姿は毎回印象に残ります。

また、8日（日）には大村市の「20才の集い」も開催をされました。来年20才を迎える方と今年20才を迎える方が実行委員となり、自分たちの手で作り上げているというすばらしい式典でした。代表で挨拶をしていた成人の一人は、私も知っている子でした。その堂々とした立ち振る舞いやお母さんへの感謝の言葉に、心が熱くなりました。

日常に追われつい目先のことに目を奪われがちですが、今の子供たちが大人になった姿を思い描きながら、これからも子供たちと関わっていきたいと思いました。